

## バリアフリーに関する定量評価について

### 1 提言内容

第 12 期第 2 回全体会議において、バリアフリーに関する定量評価について、下記のとおり、提言があった。

- 札幌市のバリアフリーレベルについて、定性評価ではなく、何らかの指標を持って定量評価していくことが必要ではないか。また、例えば、政令市における比較を行うなどにより、相対的な評価もしていくことが必要なのではないか。

### 2 課題の整理と解決の方向性

数値では表現できない事象について主観的評価を下すことを「定性評価」といい、数値化されたデータを材料として客観的評価を行うことを「定量評価」という。

札幌市の福祉のまちづくりを推進していく上では、バリアフリー整備の進捗状況を定量的に確認していく視点は非常に重要と考えられる。

一方、都市間比較については、現在人口や人口推移予測、人口密度、可住地面積、気候（積雪寒冷地か否か）などにより、都市計画を含め、必要とするバリアフリー整備が異なることなどから、相対評価には馴染みにくいと思料される。

### 3 定量評価の指標（案）

札幌市バリアフリー基本構想 2022 に掲載されている各種指標（旅客施設・車両等・道路・都市公園・建築物）を客観的に定点観測していくことで、バリアフリーに関する定量評価を行う。

